

事業コード	H27-建-継-06			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	河川改修事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修			班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	一級河川 新城川			担当課長名	河川砂防課長 鏡 藤広
箇所名	秋田市飯島			担当者名	副主幹(兼) 班長 川村 潤
総合計画との関連	政策コード	01	政策名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施策名	健全な県土保全の推進	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H03 ~ H50 (48年)		総事業費	106.9億円	国庫補助率	1/2
事業規模	計画延長 L=4,700m 計画高水流量 Q=380~410m ³ /s(1/10~1/15)					
事業の立案に至る背景	新城川は島合川合流点下流部(島合川合流点~河口部)が中小河川改修事業として平成2年度で改修済みとなっている。島合川合流点上流部は河積が小さく蛇行しており、近年の集中豪雨により毎年のように溢水氾濫が発生し、家屋、耕地に甚大な被害を与えている。このような状況下、地域住民は治水対策を熱望しており、早期の河川改修を実現し、住民を洪水から守り、民生の安定を図るものである。					
事業目的	下流中小河川改修事業区間との整合を図り、流下能力不足区間の断面を拡大し、浸水被害の解消を図る。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		5,600,000	10,686,200	5,086,200	
	経費内訳	工事費	2,259,000	5,816,100	3,557,100	掘削(残土運搬距離L=5km→L=30km)
		用補費	2,391,000	3,920,100	1,529,100	
		その他	950,000	950,000	0	
	財源内訳	国庫補助	2,800,000	5,343,100	2,543,100	護岸(土質が悪く、護岸・矢板基礎等の構造物が必要となったため)
		県債	2,520,000	4,808,790	2,288,790	
その他		0	0	0		
	一般財源	280,000	534,310	254,310		
事業内容		築堤、掘削工、橋梁工等	築堤、掘削工、橋梁工等		掘削土量、運搬距離、護岸工、橋梁基礎工(土質対策)及び建物調査結果による補償費の増	
事業の進捗状況	○H27年度末時点で進捗率54% ○一部(L=2,350m) 通水済み					
事業推進上の課題	○上流部の早期治水効果の発現とコスト削減策の検討					
関連する計画等	○第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境を整備するために県が継続的に取り組むべき基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	○沿川の土地利用に大きな変化はない。 ○平成18年7月の洪水被害を受け、緊急的に鉄道橋・道路橋緊急対策事業を投入し、平成27年3月に下流L=2,350m区間を通水した。 ○上記理由等の各工種増工の他、JR及び国道の橋梁架替えに伴う工種の増により増額となった。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川整備率=改修延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無	
	目標値 a	45.6 %	データ等の出典		河川砂防課調べ	
	実績値 b	45.7 %				
達成率 b/a	100.2 %	把握の時期		平成27年3月		

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	河積が小さく蛇行しており、近年の集中豪雨により越水氾濫等が頻発し、家屋や耕地等に甚大な被害を与えているため、早期の治水対策が望まれている。想定氾濫区域には、下新城小学校や下新城地区コミュニティセンターを含むため、事業の必要性は高い。	30点
緊 急 性	改修目標流量に対する現況流下能力が40%に達しておらず、また事業区域は秋田県水防計画で重要水防区域と定められているため、事業の緊急性は高い。	13点
有 効 性	この事業は、河道改修及び河道拡大等を実施することにより洪水被害防止効果の発現が期待できるものであり、有効性は高い。また都市計画区域の存する地域であり、事業実施により安全に川と親しむ場として利用されることが期待される。	15点
効 率 性	(費用対効果) 費用便益費は2.05であり、効率性は高い。 (コスト削減の取組状況) 護岸工の設置箇所の検討、架替える橋梁の統合、排水樋門等の集約により、コスト削減を図る。	10点
熟 度	平成3年から当事業を実施しているが、その間も度々洪水被害が発生していることから、地元では事業の促進を求めている。下流部L=2,350m区間が通水し、一定の効果を発現していることから、上流部の住民の事業の促進に対する期待は高まっている。	20点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 多くの項目において評価点が高く、住民の生命と財産を守り、県土の保全と防災力の強化を推進する上でも有効な事業箇所であるため、引き続き実施すべきと考える。	88点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H27-建-継-06)
箇所名 (秋田市飯島)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況 浸水戸数	50戸以上	10	10	442戸 (S62) 99戸 (H19)	
		49～10戸	7			
		10戸未満	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	474ha (S62) 450ha (H19)	
		59～10ha	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	土崎消防署飯島出張所 下新城小学校 下新城地区コミュニティセンター	
		2～1施設	3			
		なし	0			
	整備計画の策定					
関係者、関係機関との調整		整備計画策定済み	5	5	整備計画策定済み	
		協議中であるが特段問題ない	3			
		策定に着手していないが予定がある	1			
		予定なし	0			
計			30	30		
緊急性	災害発生危険度 改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10		
		40～59%	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画 重要水防地域	評定基準区分A	5	3	3	
		評定基準区分B	3			
計			15	13		
有効性	河川整備の有効性 安全性	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5		
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3		
地域開発の計画がある		1				
計			0	0		
計			15	15		
効率性	事業の投資効果 費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5		
		1.0未満	0			
	事業実施コストの削減 該当項目数		3項目以上	5	5	
			2項目	3		
			1項目	1		
			なし	0		
	当初計画との比較 当初計画事業費からの削減		減少または10%未満の増加	5	0	0
10%以上30%未満の増加			3			
30%以上の増加			0			
計			15	10		
熟度	地元との合意形成の状況 地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	期成同盟会	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画		積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	秋田市より河川砂防課へ 改修促進の要望書提出 (H27.7)
			参画している	3		
			参画していない	0		
	事業の進捗状況 進捗率		計画より進捗している	10	5	
			概ね進捗 (90～100%未満)	5		
計画より遅れている (90%未満)			3			
環境保全との調和への配慮状況 環境保全への配慮		システムでの環境配慮事項が3事項以上	5	5	システム=秋田県公共事業環境 配慮システム	
		システムでの環境配慮事項が1～2事項	3			
		システムでの環境配慮事項がない	0			
計			25	20		
合計			100	88		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		